

## 「新しい環境に進むにあたって②」

来年度から、保育所、幼稚園、小学校へ行かれるお子さんをお持ちの方に知って頂きたいお話です。

### ●お子さんの暮らしを見る6つのポイントチェック

せっかくの機会だし、普段の暮らしの中で、いくつか、観察してみましょう。

- 1, 物事の流が見てわかりやすくなっていますか？
- 2, 物事の場所が、わかりやすく、動きやすくなっていますか？
- 3, 物事に、本人の選択活動がはいつていますか？
- 4, 本人が言いたいことを伝えられていますか（発語にだけ頼っていませんか）？
- 5, 本人がしたいこと、好きなこと、できることですか？
- 6, 年齢、性別、刺激の感じ方、家族構成、住居環境に、フィットしていますか？

これは、構造化やスケジュールといった専門用語を使わないで、人に説明するなら、こんな言い方ができるかなと書き出したものです。自閉症の人への接し方は、単純に言えば、上記の6つを意識することじゃないかなと思っています。よく読んでいただいたら、普通の子育てと同じじゃないでしょうか？

ただお子さんが自閉症だから、その特性がある。それに合わせて、この項目をより視覚的、具体的、肯定的にしていくだけじゃないかなと思います。

たとえば、食事に困る事があるとします。

- ・ 食事の流れが見えている？（どの順番、どうやったら終わるの？）
- ・ 食事の場所が居心地良い？（どこで食べるかはっきりしている？）
- ・ 本人が選んでいる？（押しつけばかりじゃない？）
- ・ 「もっと」「いらない」「おかわり」「残す」など、言いたいことが伝えられている？
- ・ 食事したくなるような好きなものがある？  
（たとえば、お箸、器、本人が楽に食べられるものを使っている？）

その他にも、お子さんは何歳？ 女男？ なにか刺激に弱い？ お父さんはいつも一緒？ おばあちゃんと食べるの？ マンション？ 一戸建て？ などです…

という個人的なものはどう？

そんなことから、見直していったら困ったことが少しずつ減っていくのでは？ と思います。